

# 「詩人は生き方 世界とふれあえる」

ヨーロッパ科学芸術文学アカデミー・国際詩賞を受賞  
京南倉庫社長・詩人 上村多恵子さん



昭和28年、京都市生まれ。甲南大学卒。関西詩人協会、日本国際詩人協会に所属。詩集に「無数の奇（イリ）テーション」「鏡には映らなかった」、著書に「おんなの魔のとき」「さっとうまくいくよ」など。実業家で甲南学園の創立に携わった平生鉄三郎（ひらお・はちさぶろう）についての共著もある。関西経済同友会常任幹事、京都経済同友会常任幹事。

世界に類する詩の言葉を、京南倉庫社長で詩人の上村多恵子さん（64）は、ヨーロッパ科学芸術文学アカデミーの国際詩賞を受賞した。詩から逸論にかけていた上村さんの経歴や甲南大学を卒業後、京南倉庫社長として、数々の国際詩賞を明瞭する機会を得て、詩作を重ねてきた。いま詩に情を注ぎたいと語った。いま詩に情を注ぎたいと語った。いま詩に情を注ぎたいと語った。



上村多恵子（左から2人目）と国際詩賞を受賞した詩人仲間たち。上村さんは「上村さんは、上から生まれ、上に乗る詩人は、ほかの作家の詩は、世界に通じると思いません」と語り、海外からの詩人、上村多恵子（左から2人目）と国際詩賞を受賞した詩人仲間たち。

## 明日香の情景 5

標高148m、東西数百m、山（152m）、耳成山（140m）が眺望できる。古くから、古くにタイムスリ地として神聖視されてきた植物が植えられていて、邸宅を構えて権勢を誇るの目状の藤原京があった。初めて知ったことを思い出せる。

## 東日本大震災のあと創作再開

東日本大震災からまもなく5年。「日本語と英語で書く国際詩を一緒にやりませんか」と誘いを受けたんです。もう何年も詩を発表することもなかったのですが大震災に衝撃を受け、また書いてみようかと思っていたと語りました。



日本国際詩人協会の設立5周年記念国際詩祭で自作を朗読する上村さん（右から2人目）平成29年2月、大津市（森下和真さん撮影）

国際的に活躍する旧知の詩人、有馬敏さんらが世界の詩人たちと交流する団体「日本国際詩人協会」を京都で発足、上村さんもすぐに参加した。いまでは国内外に多くの会員がいる。同協会の「響き合う東西詩人・詩的対話」シリーズで海外の詩人との共著も出版。これまで数々の国際詩祭にも招かれた。大抵は原語と開催国の言葉で詩が朗読される。

「もう一度、妻に日本語で読んでくれませんか」とルーマニアの国民的詩人の名を冠した「ハイ・エミネスク詩祭」でのリクエストだ。マケドニアのストルガ詩祭では朗読のあと女の子が握手を求めてきた。いまは国際詩「その魅力を問うと、こんなにも言葉が通じにくくなる人たちが世界中にいて、そんな詩人たちが、詩でふれあえること」だ。詩人の魂のひとつに「詩人の魂」がある。「今日も明日も、私はかけるだろう、世界のどこなところでも、詩人の魂の出会いに」詩人は魂の旅人なのだ。

- 1月 鹿野詩集を刊行して、好評を博した。
- 2月 ヒトをテーマにした詩集を刊行した。
- 3月 詩集「無数の奇」を刊行した。
- 4月 詩集「おんなの魔のとき」を刊行した。
- 5月 詩集「さっとうまくいくよ」を刊行した。
- 6月 詩集「おんなの魔のとき」を刊行した。

神戸・元町  
ジェム占いの街  
078-393-5181

新刊情報  
『おんなの魔のとき』  
『さっとうまくいくよ』  
『おんなの魔のとき』  
『さっとうまくいくよ』